

平成27(2015)年度社会福祉法人あかつき福祉会
事業報告書

社会福祉法人あかつき福祉会

2015 4月



コンサート <ささゆり園>

5月



所外活動 <あかつき園・ワークセンター>

6月



オープンワークデー <あかつき園・ワークセンター>

8月



プール活動 <ささゆり園>



肝試し <あかつき園・ワークセンター>



流しそうめん <ささゆり園>



納涼祭



夏祭り <グループホーム>



西南ジャンボリー

9月



ビアガーデン <ささゆり園>

10月



さつまいも収穫 <あかつき園・ワークセンター>



宿泊旅行 <ささゆり園>

12月



もちつき大会 <ささゆり園>

2016 2月



鍋パーティ <あかつき園・ワークセンター>

3月



年度末イベント <ささゆり園>

1. 平成27(2015)年度全体概要報告

(1) 新長期計画の策定【法人本部(総務課)】

新長期計画策定プロジェクトチームでの検討、理事会等での議論を経て、平成28～32年度の5ヵ年計画として新長期計画を策定した。

(2) 製袋作業シェアの継続実施

【箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり】

平成26年度途中より実施している箕面市内他作業所と連携した箕面市指定ごみ袋の製造及び配送作業シェアを引き続き実施した。配送作業については9万枚をシェアし、製造作業については今年度の目標量(360万枚)を大幅に上回る480万枚をシェアして製造した。

(3) 箕面市外への宿泊旅行を実施

【箕面市立障害者福祉センターささゆり園】

平成23・24年度はサービス提供時間を調整したトワイライトプログラム(14:00～20:00)を実施し、平成25年度はささゆり園での宿泊体験、平成26年度は近隣施設(箕面観光ホテル)での宿泊旅行を経て、今年度は箕面市から離れ「神戸しあわせの村」での宿泊旅行を行った。

(4) 医療的ケアの必要な方の試行的受け入れ

【箕面市立障害者福祉センターささゆり園】

【地域生活総合支援センター】

箕面市立障害者福祉センターささゆり園と連携し、箕面市障害者ショートステイ室において、医療的ケアの必要な方の試行的宿泊利用の受け入れを行った。

(5) 短期入所の利用者受入体制の見直し【地域生活総合支援センター】

箕面市障害者ショートステイ室の利用受付方法を見直し、利用理由に関わらず1ヵ月前に受付・決定する方法に変更するとともに、利用受付状況を随時ホームページ上に掲載して情報提供を行った。

【平成27(2015)年度実施事業等】

1. 法人本部(総務課)

2. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり <指定管理>

【実施事業】①生活介護事業 定員70名

②就労継続支援B型事業 定員10名

3. わんすてっぷ

【実施事業】生活介護事業 定員15名

4. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園 <指定管理(⑤を除く)>

【実施事業】①園管理運営事業

②生活介護事業 定員20名

③日中一時支援事業(放課後教室)

④施設入浴サービス事業

⑤社会福祉増進事業

5. 地域生活総合支援センター

【実施事業】①共同生活援助事業

(第2つながりの家)

②短期入所・日中一時支援事業

(箕面市障害者ショートステイ室)

③居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業

(ヘルパーステーション「ウイズ」)

④相談支援事業

(ウイズ)

2. 法人本部（総務課）

(1) 概要

- 前年度には国会に上程されていた社会福祉法人制度見直しを含む改正社会福祉法案の成立が延び、平成28年3月31日に可決・成立となった。そのため、具体的な対応等に関する検討は次年度以降となった。
- 平成26年度に引き続き、監査法人による定期的な「自主監査」（大阪府社会福祉協議会実施事業）を受審し、監査で指摘を受けた事項については随時改善を行った。
- 新たな長期計画について、プロジェクトチームでの検討、理事会等での議論を経て、平成28～32年度の5ヵ年計画として策定した。
- 職員採用について、正規職員・臨時職員は確保が難しい状況が続いた。支援職員は前年度に引き続き求人票の出し方の工夫等によって、夜勤職場を中心に7名の支援職員を確保した。また、年度末には「職員採用に関する今後の取り組み方針」を定め、今後の職員採用に関する取り組みの明確化を行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計画	実施結果
1	社会福祉法人制度見直しへの対応	○研修参加によって情報収集を行った。 ○改正社会福祉法案の成立が平成28年3月31日にずれ込んだため、具体的な検討等までには至らなかった。
2	新会計基準に基づく適切な運用	○新会計基準に基づく運用を開始し、不明点は監査法人、顧問税理士に相談しながら運用を行った。
3	会計事務チェック体制の強化	○平成26年度に引き続き、監査法人による「自主監査」（大阪府社協実施事業）を受審した。 ○定期的に、税理士事務所による日常的な経理事務処理に関するチェックを受けた。
4	あかつき園建替計画の検討	○箕面市において計画案づくりが進められているが、平成27年度中に具体案の提示までには至らなかったため、具体的な協議等は実施出来なかった。
5	新長期計画の完成	○プロジェクトチームを中心に原案を作成し、理事会の議決も経て、平成28～32年度の5ヵ年計画を策定した。
6	人材の確保	○就職フェア出展2回、ハローワーク就職説明会出展2回のほか、Web及びフリーペーパーへの求人広告の掲載を定期的実施した。 ○正規職員採用試験は2回実施したが、応募者数も少なく、求める人物像と合わなかったことから採用に至らなかった。 ○支援職員・臨時職員について、臨時職員は引き続き確保の難しい状況が続いたが、支

計 画		実施結果
		援職員は夜勤職場を中心に7名確保した。 ○「職員採用に関する今後の取り組み方針」を作成した。
7	組織風土改善、人材育成	○「組織風土改善・人材育成プラン」に基づく取り組みを、年間通して実施した。 ○毎月、人材育成プロジェクトチーム会議を実施し、取り組みの進捗管理等を行った。
8	虐待防止・サービス向上	○虐待防止・サービス向上委員会を今年度5回開催し、虐待防止、サービス向上に向けた取り組みの検討を行った。 ○職員は虐待防止チェックリストに基づくセルフチェックを2回実施し、日頃の支援の振り返りを行った。 ○障害当事者である今井雅子氏を講師に招いた「ハンディスーツから見たカイジヨの魅力」（平成27年度人権研修）、各職場で管理監督職による虐待防止研修を実施した。

(3) 今後について

- 改正社会福祉法の内容を精査し、情報収集を行い、今後の対応策について検討・実施していく。
- 新長期計画に基づく取り組みについて、進捗管理を行い着実に実施していく。
- 「職員採用に関する今後の取り組み方針」に基づく職員採用の取り組みを進め、職員の安定的な確保を図っていく。

(4) 理事会・評議員会開催状況

<理事会>

- ・第1回 平成27年 5月28日
案件 = 平成26(2014)年度決算 など
- ・第2回 平成27年11月17日
案件 = 平成27(2015)年度補正予算(第2号) など
- ・第3回 平成28年 3月28日
案件 = 平成28(2016)年度事業計画及び予算 など

<評議員会>

- ・第1回 平成27年 5月26日
案件 = 平成26(2014)年度決算 など
- ・第2回 平成27年11月16日
案件 = 平成27(2015)年度補正予算(第2号) など
- ・第3回 平成28年 3月23日
案件 = 平成28(2016)年度事業計画及び予算 など

3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり

<就労継続支援B型事業>

(1) 概要

- ごみ袋の製造及び配送作業の箕面市内他事業所とのシェアを、引き続き円滑に実施した。
- 1名の利用者について、他の就労継続支援B型作業所への移行支援を行ったが、本人・家族の意向もあって今年度中の移行は見送りとなった。
- 1名の利用者に自力通所支援を実施し、円滑な自力通所に繋げることが出来た。
- 保護者会において情報提供を行なうとともに、給食試食会、チーム別懇談会を開催して、家族との情報共有を行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	製袋作業シェアの円滑実施	○箕面市内他作業所と連携し、ごみ袋の製造及び配送作業のシェアを実施した。配送作業については9万枚をシェアし、製造作業については今年度の目標量を大幅に上回るシェア結果となった。(360万枚→480万枚)
2	適切な進路支援の実施及び社会資源の的確な情報把握	○計画相談事業所と連携して利用者及び社会資源の状況把握を行うとともに、情報提供等を行った。 ○1名の利用者に就労継続支援B型作業所「すきっぷ」への移行を視野に入れた実習を行ったが、結果、本人・家族の意向により今年度中の移行は見送りとなった。
3	多様な働く機会や社会生活に必要な経験の提供	○箕面市障害者事業団において6名の利用者が、延べ47日間実習を行った。 ○1名の利用者の自力通所支援（不安感の比較的小さい登園時のみ）を実施したが、特段のトラブルもなく自力通所が実施出来た。 ○作業等において、視覚支援の積極的活用を行い自立的な作業推進を図った結果、主体的・自立的に仕事ができる場面が増えた。
4	指定管理者アンケート結果を踏まえた対応	○平成26年度受審した大阪府社会福祉協議会の第三者評価結果を踏まえた対応に引き続き取り組んだ。 ○社会福祉士科（通信）学生の相談援助実習、教員免許取得のための介護等体験実習を延べ2名受け入れた。 ○家族から求められたテーマに基づき保護者会において情報提供を行なうとともに、給食試食会やチーム別懇談会を開催し家族との情報共有を行った。 ○自閉症者等への支援スキルの向上を図るため、「自閉症の特性」「応用行動分析」等をテーマとして研修を行い、チーム内での支援スキル向上を図った。

(3) 今後について

- ごみ袋の製造及び配送作業のシェアを、関係団体と調整しながら円滑に実施していく。
- 研修等を通じて、作業支援に携わる職員のスキルアップに取り組むとともに、利用者に応じた支援を行っていく。
- 家族との連携を図り、家族への情報提供・共有に取り組んでいく。

(4) 主な活動内容

①生産活動

ア) 箕面市指定ゴミ袋の生産

	平成26年度	平成27年度
年間売上金額	84,659,036円	87,024,561円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃額（特別工賃を含んで換算）

	平成26年度	平成27年度	前年度比
就労継続支援B型	48,038円	48,038円	100.0%

②施設外支援

実習先	参加人数（実数）	参加延べ日数	職 種
箕面市障害者事業団	6名	47日	緑化部門（花壇管理等）/5名・43日 喫茶/1名・4日

③その他の活動

- 健康活動（ラジオ体操、ウォーキング、ダンス、栄養教室、体重測定等）
- 生産活動（製袋、館内・館外清掃等）
- 創作活動（手芸、描画等）
- 社会活動（買い物、公共交通機関の利用、所外活動等）

(5) 在籍者状況（平成28年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
平成27年度	10名	27.5才	7.5年	94.9%	9.5人
平成26年度	10名	24.7才	6.8年	97.0%	9.7人

平成27年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	不明
	0名	0名	6名	3名	0名	0名	1名

3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり

<生活介護事業>

(1) 概要

- グループでの活動が難しく特段の支援を要するケースについて、家族と連携し情報共有を図ることで、安定した利用に繋げ、長期欠席に繋がらないように努めた。また、必要に応じて相談支援事業所等とも連携し、家庭、日中活動、余暇活動を支援する事業所間で情報共有し支援方針の共有化を行った。
- 職員による虐待事案が発生し、利用者・家族に苦痛と不安を与えてしまう結果となった。事案発生背景・原因を踏まえ、再発防止策を作成して再発防止に向けた取り組みを実施した。
- 次年度に新規利用者5名を受け入れるにあたり、チーム編成や支援体制、作業室や食堂・更衣室などの物理的環境の整理、効率的な送迎体制などについて議論を行い、円滑に次年度の受け入れが実施できるよう準備とシミュレーションを行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	利用率向上、収入増に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○利用率は前年度比微減(93.8%→93.0%)であった。 ○欠席時対応加算は前年度は171回であったが、今年度は235回算定した。 ○欠席等が続く場合は、ケース担当者が電話にて様子を伺うなど、きめ細やかな支援に努めた。 ○既卒者(新卒ではなく既に支援学校を卒業している方)1名の受け入れを行った。
2	進路支援対象者選定方法の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○利用率増の取り組み等を優先し、新たな選定方法の検討は実施出来なかった。
3	各事業者との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ○計画相談支援事業者とケースカンファレンス、電話連絡などを実施し、情報共有に努めた。
4	新規利用者の円滑な受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ○新卒者4名の新規受け入れを行った。職員配置を含め環境の調整や支援の試行錯誤、家族との連携により、安定した状態を持続出来る時間を徐々に増やすことが出来た。
5	ヒヤリハット事例等の記録・活用	<ul style="list-style-type: none"> ○パソコンでの閲覧を活用し、早期の情報共有に努めた。また、報告書を作成し、背景や原因、対応方法の振り返り、再発防止に活用した。
6	指定管理者アンケート結果を踏まえた対応	<ul style="list-style-type: none"> ○平成26年度受審した大阪府社会福祉協議会の第三者評価結果を踏まえた対応に引き続き取り組んだ。 ○大阪社会福祉士会施設サポートサービスを活用し、第三者による客観的評価の把握、サービスの改善に繋げた。 ○介護福祉科学生の介護実習、社会福祉士科(通信)学生の相談援助実習、教員免許取得のための介護等体験実習を延べ4名受け入れた。 ○家族から求められたテーマに基づき保護者会において情報提供を行うとともに、給食試食会や1階チームの家族参加行事の実施、チーム別懇談会を開催し家族との情報共有を行った。

計 画		実施結果
		○外部研修の受講者に研修報告を行う機会を設け、知識の習得だけでなく伝える力の向上にも努めた。
7	人員確保と職員育成	○臨時職員の欠員状態が継続した。 ○支援職員は複数名採用したが、採用予定数は充足出来ず、一部チームにおいては引き続き欠員状態が継続した。

(3) 今後について

- 虐待ゼロに向けた再発防止策を引き続き実施していく。
- 発達障害等、特段の支援を要する利用者及び利用者の相互関係に配慮したチーム編成と支援体制を引き続き検討・検証していく。
- 利用者が取り組むことができる作業の種類を検討、拡大していく。

(4) 主な活動内容

①生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	平成26年度	平成27年度
箕面市指定ごみ袋の生産	7,640,259円	7,200,000円
さをり製品等製造販売	146,184円	114,021円
ペットボトル、アルミ缶リサイクル等	298,903円	182,894円
農園芸	784,912円	793,632円
計	8,870,258円	8,290,547円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃(特別工賃を含んで換算)

平成26年度	平成27年度	対前年度比
10,797円	8,754円	81.0%

②その他の活動

- 健康維持活動(機能維持訓練、ダンス、プール、ウォーキング等)
- 日常生活・社会適応訓練(図書館利用、買い物実習、調理実習、喫茶店、外食等)
- 創作活動(絵画、貼り絵、手芸、季節イベントの飾り作り、コラージュ等)
- 文化活動(DVD鑑賞、音楽鑑賞、音楽活動、ハンドベル等)
- 社会活動(地域清掃、古切手の切り取り等)

(5) 在籍者状況 (平成28年3月31日現在)

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数	
平成27年度	66名	27.7歳	9.1年	93.0%	62.1名	
平成26年度	62名	27.4歳	8.7年	93.8%	60.6名	
平成27年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	26名	24名	12名	4名	0名	0名

4. わんすてっぷく生活介護事業

(1) 概要

- 利用者の精神状況の把握・対応に努めた結果、利用率が101.0%となり、1日あたりの平均利用者数は定員（15人）を上回って15.2人であった。
- 手狭な施設環境や支援体制上、個々の障害特性に応じた支援が困難なケースがあった。
- 関係機関等との連携を密にした対応を行い、高齢利用者の安定的な利用に努めた。
- 職員の欠員状態が継続したこともあり、今後の再整備に係る検討の具体的な進捗までには至らなかった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	法人独自事業としての安定経営	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者の精神状況の把握・対応に努めたことで安定的な利用に繋げ、利用率が101.0%と前年度95.9%から大幅増となり、介護給付費収入も前年度比約100万円の増収となった。 ○ わんすてっぷ再整備に係る検討については、職員の欠員が継続し現場対応を優先したため、具体的な進捗には至らなかった。
2	利用者・家族の高齢化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 成年後見人制度の利用に関わって、後見人に対する対応、緊急かつ長期の複数短期入所事業所の利用に係る対応、グループホームへの入居に係る対応等を、関係者・相談支援機関・サービス提供事業所などと適時連携して行い、円滑なサービス利用に繋げた。
3	支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男性支援職員の確保には至らず、欠員状態が継続した。
4	ボランティアの定着・拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大幅な拡大にまでは至らなかったが、日中活動や所外活動にて前年度の延べ54名を上回る59名の参加であった。
5	サービスの質的向上及び利用者アンケート結果に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢知的障害者の支援に関する研修に参加し、職員の支援スキル向上に努めた。 ○ 支援策の検討に資する視点を重視し、日常の記録化を促進した。 ○ 生活習慣病予防の一環として、間食の提供を控えた。 ○ 高次脳機能障害、自閉症、統合失調症等の多様な障害特性を有する利用者が混在しており、利用者間の環境調整や個別的な支援が不可欠であるが、現状の施設環境（手狭で個別空間が無い）や人員体制等もあって、十分なサービスの向上策を実施することが出来なかった。

(3) 今後について

- 困難事例に対して、複数職員による対応等の支援策を検討していく。
- 利用者の高齢化への対応として、介護保険サービス対象年齢者の介護保険サービス利用の検討を進めていく。
- 利用者ニーズに基づいた他事業者サービスとの併用利用など、柔軟なサービス利用を推進していく。
- 職員従事体制を整備し、新採職員にはOJTによる指導等によって育成に努めていく。
- 現状の課題整理を行い、拡大移転等の整備策を検討・立案していく。

(4) 主な活動内容

- ① 創作活動（手芸、工作、カラオケ、Wiiゲーム、さをり織り等）
- ② 健康活動（ウォーキング、手浴・足浴等）
- ③ 専門職による相談・指導（機能維持訓練、嘱託医による相談、ダンス指導等）
- ④ 所外活動（万博公園、一庫公園、ジャニーズショップ大阪店等）
- ⑤ 季節毎のイベント（流しそうめん、クリスマスイベント等）
- ⑥ 生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	平成26年度	平成27年度	対前年度比
さをり製品等の制作・販売	12,320円	960円	7.8%
チラシ配布委託業務	71,490円	64,862円	90.7%
計	83,810円	65,822円	78.5%

イ) 利用者1人あたりの年額平均工賃

平成26年度	平成27年度	対前年度比
4,930円	3,841円	77.9%

(5) 在籍者状況（平成28年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
平成27年度	17名	48.7歳	10.8年	101.0%	15.2名
平成26年度	17名	48.2歳	9.1年	95.9%	14.7名

平成27年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	1名	7名	7名	2名	0名	0名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園〈園管理運営事業〉 ※社会福祉増進事業含む

(1) 概要

- 障害者等への理解を深める啓発事業として、3月18日、講師にOffice KURIHARA 代表の栗原紀代美氏を招き、「障害者市民の自立と権利擁護を考える」をテーマにした講座を開催した。
- 箕面保育園の園児17名と園長及び保育士2名の計20名を招き、生活介護事業の利用者とともにもちつき会を実施した。また、リフト車両や機械入浴等を見学してもらい、障害やバリアフリー等について考える機会とした。
- 聴覚障害のある当事者からの意見を踏まえ、来園者へのDVD貸出を分かりやすく展示する等の改善を図った。
- 貸館利用に関して、随時利用団体から定期利用団体への利用変更はあったが、団体数は変わりなく、事業別利用状況は微増した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	既存8事業の見直しを検討・協議	○箕面市へ茶道・華道教室利用者の固定化傾向、営利活動団体の利用基準・一部有料化の検討、駐車スペース等について現状報告を行ったが、解決・結論には至らなかった。
2	施設利用基準のあり方を検討・協議	
3	障害者等の理解促進に係る啓発事業の実施	○講師にOffice KURIHARA代表の栗原紀代美氏を招き、3月18日午後6時から「障害者市民の自立と権利擁護を考える」をテーマに講座を開催した。(参加者36名)

(3) 今後について

- 全事業の実施内容・効果を検証し、新事業への移行または事業の廃止を含め、箕面市と継続協議を行っていく。
- 「地域で生きる」障害者問題市民講座は、広報・事前宣伝の充実、実施内容・開催時期等を検討し、次年度も継続実施する。あわせて、地域の保育園等とのイベントをとおした交流も継続していく。
- 新規事業として、箕面市より依頼のあった要約筆記講習会を箕面市社会福祉協議会と共同開催していく。

(4) ささゆり園利用状況

	平成26年度	平成27年度	対前年度比
開館日数	320日	322日	100.1%
利用件数	1,885件	1,863件	98.8%
利用件数/1日	5.9件	5.8件	98.3%
利用者数	25,717名	26,455名	102.9%
利用者数/1件	13.6名	14.2名	104.4%
利用者数/1日	80.4名	82.2名	102.2%

事業名	平成26年度		平成27年度		対前年度比 (人数比)	
	件数	人数	件数	人数		
障害者社会参加促進事業	41	261	41	315	120.7%	
[内訳]	①茶道教室	20	107	20	151	141.1%
	②華道教室	21	154	21	164	106.5%
ボランティア育成事業	46	443	45	544	122.8%	
[内訳]	①手話講習会 「入門・基礎編」	35	405	35	506	124.9%
	②中級音訳講習会 〈平成26年度は初級〉	11	38	10	38	100.0%
啓発事業（市民講座〈平成26年度は映画会〉）	2	70	1	36	51.4%	
貸館事業	1,796	24,943	1,776	25,560	102.5%	
[内訳]	①障害者団体	607	11,524	625	11,551	100.2%
	②ボランティアサークル	595	7,372	547	7,299	99.0%
	③外郭・行政関係	225	3,396	282	4,527	133.3%
	④その他	328	2,604	281	2,137	82.1%
	⑤IT室	41	47	41	46	97.9%
合計	1,885	25,717	1,863	26,455	102.9%	

※会議室等使用団体数(平成28年3月31日現在)

- ・定期利用団体：38団体（対前年度比2増）
- ・随時利用団体：27団体（対前年度比2減）
- 【合計】65団体(対前年度比±0)

(5) その他

①法人自主事業として、「社会福祉増進事業」を実施した。

大阪府登録喀痰吸引等研修機関として、実地研修及び修了申請事務を実施した。
(修了者数延べ24名、うちあかつき福祉会職員延べ23名)

②医療的ケアを必要とする重度重複障害者市民への試行的ショートステイ事業

指定管理応募時の特定提案でもある医療的ケアを必要とする重度重複障害者市民への試行的ショートステイ事業について、地域生活総合支援センターと連携を図りながら以下のとおり実施した。

*実施概要

- ・募集方法: ささゆり園生活介護利用者の対象者から希望者を募った。
(2名応募、1名は体調不良により次年度へ)
- ・実施日 : 平成28年3月24日(木)～25日(金)、1泊2日
- ・ご利用者: 1名
- ・実施場所: 箕面市障害者ショートステイ室
- ・実施体制: ささゆり園ケース担当者1名・看護師1名、地域生活総合支援センター職員1名
(合計3名)

*実施結果

- ・宿泊中の医療的ケアに関しては、全て看護師が実施した(当該実施場所が登録喀痰吸引等事業所ではないため、現状において介護職では対応できなかった。今後、登録事業所申請を行う予定)
- ・今まで取り組んできた夕方以降の支援や宿泊旅行等の実践、夜間支援ノウハウの蓄積等により、特段問題なく円滑に試行的ショートを実施することが出来た。
- ・今後の経常的实施に向け、介護職が実施できない医行為への対応等、明確となった課題について今後も試行的実施を継続する中で整理・検討していく。

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<生活介護事業>

(1) 概要

- 平成27年5月より医療的ケア（吸引・胃ろう）が必要な方1名が新たに利用することとなったが、平成28年1月に長期入院中の利用者1名が逝去されたため、結果として契約者数は前年度同様22名となった。また、今年度は前年度に引き続き、体調を崩し入院（肺炎・腸閉塞等）された方が多かったため、利用率は低く、介護給付費は約300万円の減収となった。
- 定期通院（気管カニューレ交換、リハビリ等）や筋ジス等の進行性疾病、医療的ケアを含む重複障害や高齢化に伴う機能低下による欠席や入院等（肺炎、発作等）により、利用予測や安定的経営に関しては、相変わらず厳しい状況が続いた。
- 利用者・家族からの強い要望や日々のモチベーションを高める等の目的から、「宿泊旅行」の実施を目指し、平成23・24年度はサービス提供時間を調整したトワイライトプログラム（14：00～20：00）、平成25年度はささゆり園での宿泊体験、平成26年度は近隣施設（箕面観光ホテル）での宿泊旅行を経て、今年度は箕面市から離れて「神戸しあわせの村」での宿泊旅行を実施した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	不安定利用に対する対応	○1週間以上入院された方が9名（体調を崩して入院5名、その他入院4名）と、本人・家族・主治医と連携した健康管理での対応が依然難しい状況であった。
2	入浴支援体制の見直し	○入浴特化（午前集中型）の支援体制を整える等、見直しを行った。 ○相談支援員と連携を図りながら、利用者・家族に社会資源等の情報を提供した。 ○箕面市へ現状および課題（入浴希望利用者の増加等）の報告を行ったが、具体的な結論には至らなかった。
3	介護職による喀痰吸引等の実施	○介護職員2名が新たに喀痰吸引等基本研修を受講した。また、延べ14名の介護職員が実地研修を修了した。 ○宿泊旅行に向け喀痰吸引等実施マニュアルの見直しを行った。
4	重度重複障害者の地域生活に係る調査研究	○平成28年1月7日に高槻市の北摂杉の子会「ぶれいすBe」（多機能型事業所）の見学を行った。 ○「北摂重症児者の拠点作りの会」定例会に参加した。
5	医療的ケアの必要な利用者の地域生活支援検討	○定期的に家庭訪問および懇談を実施した。 ○医療的ケアが必要な方達を対象とした試行的なショートステイ利用を地域生活総合支援センターと連携を図りながら実施した。
6	指定管理者アンケート結果を踏まえた対応	○アンケート結果のフィードバック（宿泊旅行等への反映）を行った。 ○定期的に内部で職員研修（月1回以上）等を実施し、職員の資質向上を図った。
7	人員確保	○新たに看護師1名を採用する等、看護師を複数確保し、常時2名体制となるよう体制強化を行った。

計 画		実施結果
8	介護技術の標準化への対応	○機能訓練マニュアルの作成・見直しを行った。 ○新規採用職員にOJT担当者を配置して育成に努めた。 ○定期的に職員内部研修（月1回以上）等を実施し、介護技術の標準化に努めた。
9	地域への情報発信、交流	○ブログ（計15回）の作成・配信や機関紙の作成・配布を行い、近隣福祉施設との交流時には機関誌を活用した。

(3) 今後について

- 引き続き、医療的ケア実施体制の充実を図っていく(指導看護師による介護職員および添乗職員への研修の適時実施、医療的ケア手順マニュアル作成等)。
- 家族の高齢化による介護力の低下に伴う地域生活支援(居宅介護、入所施設、短期入所、GH等)についての検討や情報提供を行っていく。
- 宿泊旅行に向けた取り組みを継続するとともに、日帰り旅行(休日実施)等についても新たに取り組む等、多様な活動支援について検討していく。
- 先駆的取り組みを行う他地域の法人等への調査研究を行っていく。
- 職員個別面談や職員内部研修(月1回以上)を継続実施し、さらなる職場風土の改善と職員の定着率向上および資質向上に努めていく。

(4) 主な活動内容

- ①健康活動（バイタルチェック、スヌーズレン、プール、手浴・足浴等）
- ②機能訓練（月2回の作業療法士による訓練指導及び日常のエクササイズ等）
- ③創作活動（さをり織り、組み紐、季節の創作、イベント開催時等の飾り付け等）
- ④園外活動（買い物、散歩、学園祭、ラウンドワンボーリング等）
- ⑤音楽活動（カラオケ、音楽鑑賞、ダンス、全体演奏会等）
- ⑥ゲーム活動（ボッチャ、サイコロゲーム、カードゲーム、スマートボール等）
- ⑦イベント（バーベキュー大会、宿泊旅行、忘年会・もちつき会、年度末イベント等）

(5) 医療的ケア実施状況

内 容		人数
たんの吸引	口腔内	8名
	鼻腔内	7名
	気管カニューレ内部	5名
経管栄養	胃ろう	3名
	腸ろう	1名
	経鼻経管栄養	3名
胃ろう、腸ろうによる与薬		3名
合 計（延べ人数）		30名

(6) 在籍者状況（平成28年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
平成27年度	22名	40.8歳	8.0年	83.9%	16.7名
平成26年度	22名	40.2歳	8.0年	85.3%	17.6名

平成27年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	18名	4名	0名	0名	0名	0名

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<日中一時支援事業>

(1) 概要

- 平成27年度末時点で、箕面市内に13カ所、豊中市22カ所、吹田市16カ所、茨木市20カ所、池田市10カ所など、近隣他市でも事業所が設立されており、箕面市への現状報告と今後の事業のあり方に係る継続協議を行い、平成27年度より週3日に変更・営業を行った。
- 前年度に引き続き、利用者・家族の意向を踏まえて、社会適応訓練（自力通所に向けた支援：2名）を実施した。
- 前年度同様、他事業所と連携を図りながら、利用の公平性、利用者・家庭状況等に配慮した曜日の設定を行った。また、活動内容に関して各曜日のサービスの均一化を図った。
- 近隣事業所（さんかくひろば）とサマーパーティーを実施し、利用者の情報共有を行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

計 画		実施結果
1	事業の方向性を協議	○箕面市へ現状及び今後の課題（契約者数の減少、待機者0、民間事業者の急増）について、状況報告、協議を行った。協議の結果、平成28年度より営業日を週3日から週2日へ変更することとなった。
2	社会適応訓練の実施	○平成27年度、新たに2名の社会適応訓練を実施し、自力通所に繋がった。
3	指定管理者アンケート結果を踏まえた対応	○アンケート結果のフィードバックを行った。 ○定期的に職員内部研修（月1回以上）等を実施し、職員の資質向上を図った。
4	専門職との連携	○自閉症等の障害特性について、支援アドバイザーに助言、指導を仰いだ。 ○ささゆり園利用者全員が他事業所を併用しているため、適宜利用者の情報収集を行った。

(3) 今後について

- 営業日を週3日から週2日に変更して事業実施を行っていく。
- 事業の実施内容・効果を検証し、新事業への移行又は事業の廃止を含め箕面市と継続協議を行っていく。
- 発達障害等への対応に関し、支援アドバイザーの助言を受けながら、個別の課題に応じた支援のあり方について検証・実践していく。

(4) 主な活動内容

- ①健康活動（散歩、プール、エアマット等）
- ②調理実習（焼き菓子作り、昼食作り等）
- ③創作活動（シールアート、ペットボトルキャップ創作、木工等）
- ④農園活動（野菜栽培、草花栽培等）
- ⑤園外活動（公共交通機関の利用、買い物、図書館、スーパーガーデンプール等）

(5) 在籍者状況（平成28年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
平成27年度	11名	16.2歳	3.1年	65.8%	3.7名
平成26年度	15名	15.5歳	2.8年	75.5%	4.5名

平成27年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	0名	0名	0名	3名	2名	0名

※6名は障害支援区分未認定。療育手帳のみ所持。

5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園〈施設入浴サービス事業〉

(1) 概要

- 事業の現状及び課題（利用年限・送迎・光熱水費等）を踏まえて、今後の事業の方向性について箕面市に報告・協議を行ったが、結論には至らなかった。
- 平日夕方という実施時間帯、1日2時間程度の従事時間の関係から、依然として従事者（登録ヘルパー）の確保が困難な状況にあり、不足分は生活介護の職員で対応した。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	事業の方向性を協議	○箕面市へ現状及び今後の課題について状況報告を行ったが、結論には至らなかった。
2	新規利用者の募集、確保	○入浴の相談があった際は、ホームヘルパー、訪問入浴、基準該当サービスなど、何らかの社会資源を活用することにより、最大週6回まで自宅で入浴サービスを受けることができる等の情報提供を行った。
3	人員確保と支援サービスの質的向上	○女性ヘルパーは確保することができた。男性ヘルパーはブログの活用、ビラ配布等を実施したが、安定的なヘルパー確保には至らなかったため、生活介護の職員が対応した。 ○マニュアル化には至らなかったが、登録ヘルパーに対し、適時、安全・適切な身体介護技術の指導を行った。

(3) 今後について

- 事業の実施内容・効果を検証し、事業のあり方について箕面市と継続して協議していく。
- 利用者及び利用相談のあった方への情報提供を継続していく。
(平成28年度以降、居宅介護における入浴については週5回まで、また地域生活支援事業における入浴サービス(施設入浴)については、訪問入浴と施設入浴を合わせて週3回まで利用可能。そのため対象者要件やサービス等利用計画の作成等の要件はあるものの、ケースによっては居宅介護と入浴サービスを併用し、週7日入浴することも可能)
- 登録ヘルパーの確保(機関誌、ビラ配布、ブログ等の活用)に努めていく。また、登録ヘルパーに依存しない従事体制の検討を行い、引き続き安定的な事業運営を図っていく。

(4) 施設入浴サービス利用状況

	平成26年度	平成27年度	対前年度比
実施日数	244日	243日	99.6%
利用者数	728名	631名	86.7%
利用者数/1日	3.0名	2.6名	86.7%

6. 地域生活総合支援センター〈共同生活援助事業〉

(1) 概要

- 第5つながりの家、第10つながりの家の欠員を補充するため、自活・生活訓練修了者等を対象に入居希望者を募り、体験入居を経て2名の方が入居された。結果、平成27年度末での欠員は第10つながりの家1名のみとなった。
- 全体の利用率は前年度比で微減（80.1%→79.2%）したが、2名の新規入居者や土日泊利用等によって延べ利用者数は増加し、介護給付費収入は前年度比約800万円増となった。
- 家族の高齢化に伴い365日運営を目指している第5つながりの家において、入居者の精神的な負担を考慮しながら、365日利用に向けた調整・対応を行った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	入居者の欠員補充	○第5つながりの家で1名、第10つながりの家で1名が体験入居を経て入居された。その後も安定した利用が継続した。 ○まだ1名の欠員がある第10つながりの家において、支援体制や消防法への対応を勧奨して障害支援区分3以下の入居者を募集し、体験入居を実施した。（平成28年4月より入居予定）
2	利用率向上に向けた取り組み	○計画的な祝前日・祝日の運営や入居者・ご家族からの運営日以外の利用希望にも対応したが、全体的な利用率は微減（▲0.9%）となった。
3	365日運営に向けた取り組み	○家族の高齢化に伴い第5つながりの家において、適時帰宅日を設けながら365日利用に向けた調整・対応を行った。
4	GH将来構想の検討	○「建て貸し方式」の検討や消防法に対応した物件の情報収集などを適時実施したが、具体的な将来構想の立案までには至らなかった。
5	入居者の高齢化・重度化への対応	○家族の入院や介護負担の増加等による通常運営日外の利用希望の増加に対して、他部署の応援勤務も得ながら対応した。
6	消防法への対応	○第10つながりの家に自動火災通報装置及び消防機関へ通報する火災報知設備を整備するとともに、欠員補充にあたっては消防法上の取り扱いを踏まえて障害支援区分を勧奨した新たな入居者募集を行った。
7	余暇の充実	○各グループホームで「どんなことをしたいか」を利用者で話し合っ「夏祭りへの参加」「焼き肉を食べに行こう」等を計画、実施した。
8	人員確保と職員育成	○職員・登録ヘルパーがショートステイ室及びグループホームの両事業に勤務する体制を取り入れ、効率的な運営に努めた。 ○しかし、十分な登録ヘルパーの確保には至らず、安定的な従事体制の確保までには至らなかった。

計 画		実施結果
		○世話人会議において、個々の世話人が障害特性等について調べてきた内容を共有する機会を設けるなど支援スキルの向上に努めた。
9	サビ管と世話人の連携強化	○日々の連絡調整をメール及びグループウェアで行うとともに、サビ管が随時グループホームを訪問し、利用者支援に関する課題や支援策の共有を行った。

(3) 今後について

- 家族の高齢化に伴って帰宅時の介護負担が増加している第9つながりの家において、365日運営に向けた支援体制等の整備を行っていく。
- 消防法への対応として、自動火災通報装置及び消防機関へ通報する火災報知設備を連動させる等の整備が必要なグループホームにおいて、平成30年末までの整備を進めていく。
- グループホームの運営日拡大に伴う週末余暇支援について、「移動支援」の活用を図るとともに、イベント等の企画なども検討し余暇支援の充実を図っていく。

(4) 在籍者状況（平成28年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均利用率	平均利用人数
平成27年度	35名	44.1才	79.2%	27.3人
平成26年度	33名	43.5才	80.1%	26.5人

平成27年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	3名	12名	11名	6名	3名	0名

6. 地域生活総合支援センター〈短期入所・日中一時支援事業〉

(1) 概要

- 短期入所事業において、「使いやすい」「わかりやすい」サービス提供を目指し、利用受付方法の見直し及び利用受付状況のホームページ上への掲載などを実施した。これらの取り組みの結果、利用断り件数が前年度比57件減少した。
- 積極的に体験利用の斡旋調整を行い、1日あたりの宿泊者数及び延べ利用者数は前年度より大幅に増加し、介護給付費収入も前年度比約200万円の増収となった。
- 箕面市からの要請に基づく利用は、前年度の対象利用者がグループホームへの入居等により課題解消され、前年度延べ328日から大幅に減少して延べ200日程度の利用となった。
- 日中一時支援事業は、通所サービス利用後から家族が帰宅されるまでの間の利用者が大幅に増加し、前年度の2倍以上の利用者数となった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	利用者受入体制の検討・見直し	○利用受付方法を見直し、利用理由に関わらず1ヵ月前に受付・決定する方法に変更するとともに、利用受付状況を随時ホームページ上に掲載して情報提供を行ったことなどにより、利用断り件数が前年度比57件減少した。
2	必要な設備の修繕・新規導入	○浴室タイルの貼り替え、エアコンの更新、壁紙の張り替えなどを行った。また、利用者の安全確保のため無断外出防止を図る設備整備について検討したが、今年度中の導入には至らなかった。
3	余暇の充実	○主に土曜日と日曜日の日中に、職員従事体制に応じて利用者が楽しめる「クッキング」や「創作活動」などを提供した。
4	医療的ケアの必要な方の試行的受け入れ	○平成28年3月にささゆり園と連携して宿泊利用の試行的受け入れを実施し、今後の課題抽出等を行った。
5	人員確保と職員育成	○グループホーム等の他事業との兼務体制等も取り入れ、より効率的な人員配置に努めた。 ○近隣地域・大学前でのチラシ配布等を行ったが、十分な登録ヘルパーの確保には至らず、安定的な従事体制の確保までに至らなかった。 ○新規採用職員については、採用時研修やOJTチェックシートに基づく指導により育成を行った。

(3) 今後について

- サービスの質的向上を図るため、利用者アンケートを実施し、利用者ニーズに沿った対応を検討していく。
- 医療的ケアを要する方の受け入れについて、「喀痰吸引等事業所登録」などの体制整備を進めるとともに、ささゆり園、あかつき園・ワークセンターささゆりとの連携を図りながら受け入れを推進していく。
- 箕面市との収支差補助にかかるルール化等について、検討・協議を進めていく。
- 登録ヘルパーの確保・育成を行い、安定的な従事体制を確立し、利用者増の取り組みもあわせて進めて行く。

(4) ショートステイ室利用状況

	平成26年度	平成27年度	対前年度比
1日あたり宿泊者数	4.05名	4.41名	108.9%
延べ利用者数 (1日平均)	2,665名 (7.3名)	2,972名 (8.1名)	111.5%
短期入所 延べ利用者数 (1日平均)	2,594名 (7.1名)	2,821名 (7.7名)	108.8%
日中一時 延べ利用者数 (1日平均)	71名 (0.2名)	151名 (0.4名)	212.7%

6. 地域生活総合支援センター

＜居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業＞

(1) 概要

- 居宅介護については、前年度とほぼ同様の派遣状況となり、介護給付費収入は微増であった。
- 移動支援については、利用者からの派遣要請には概ね応えることが出来た。しかし、これまで移動支援で行っていたグループホーム利用者の帰宅時支援が、グループホームの支援として行うこととなったため、収入が微減した。
- 登録ヘルパーの確保に向け年間を通じて募集活動を行ったが、十分な確保には至らず、グループホーム利用者の余暇支援に係る派遣拡大は不十分であった。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	GHIにおける余暇支援の充実	○余暇支援を進めるための登録ヘルパーの確保に努めたが、確保には至らず、週末余暇の充実には至らなかった。
2	GHIにおける居宅介護・通院等介助の充実	○既存の利用者へのサービス提供を継続して実施し、新たにグループホーム入居者1名に対して通院等介助を開始した。
3	GH欠員補充や開所日変更、転居に伴う居宅介護・週末帰宅送迎体制の整備	○グループホームの実施状況に応じてその対応を検討したが、結果的に転居等もなく現状のサービス提供を継続することで対応出来た。
4	通院等介助対応の見直し	○行動障害等を伴う利用者に対応出来る従事者の拡大を図るため、新規採用職員に対し実施研修などを通じた育成を実施したが、登録ヘルパーの確保・育成には至らず、引き続きサービス提供責任者も従事する状況が継続している。
5	有資格従事者の確保	○新たに4名の新規登録者があり、1名は特定の利用者支援に専従し、1名はグループホーム利用者の同行援護支援に従事した。 ○人材確保にあたっては、求人チラシの配布やもみじだよりでの求人などを行ったが、登録ヘルパーの不足（特に男性）状況が続いた。

(3) 今後について

- 従事者の確保が最も重要な課題であるため、これまでの求人方法等を見直し、より多くの従事者を確保し、通院等介助や移動支援のサービスの拡大に繋げていく。
- 従事者の質的向上を図るためヘルパー研修の充実を図り、多様な障害状況への対応が可能な従事者の育成を行っていく。

(4) ヘルパー派遣状況 (平成28年3月31日現在)

単位：時間

	居宅介護				移動支援	
	通院等介助		同行援護	身体介護	I類	II類
	(身体介護あり)	(身体介護なし)			(身体介護あり)	(身体介護なし)
平成27年度	251.0	47.0	279.0	1,803.0	1,148.0	866.5
平成26年度	241.5	45.5	208.5	1,873.5	1,215.0	1098.5

6. 地域生活総合支援センター〈相談支援事業〉

(1) 概要

- 「計画相談」の利用者増に伴い、「サービス等利用計画」の作成に重点的に取り組み、前年度の1.6倍にあたる585件の相談に対応した。
- 年間を通じて、箕面市内及び近隣市町村の障害福祉サービスに係る情報収集に努め、適時利用者へ情報提供や斡旋調整を行うとともに、関係機関との連携を図った。

(2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	契約者拡大への対応	○多くの利用者対応への事務効率化を目的として、「サービス等利用計画」作成に係るシステム等の検討を行った。
2	困難事例への対応	○家庭やサービス提供事業者等の関係機関との連携のもと、安定した生活に繋げるための障害福祉サービスの斡旋調整を行った。
3	箕面市地域自立支援協議会への参画	○相談支援部会、権利擁護部会に参画し、他相談支援事業所等の関係機関と情報交換を行った。
4	相談支援専門員の育成・増員	○相談支援専門員資格に係る「初任者研修」を3名、「現任者研修」を1名が受講した。
5	相談支援サービスのマニュアル化	○サービス等利用計画サポートブックを活用しながら作成した。 ○一体的な管理が可能な作成システム（ソフトウェア）の導入を検討した。

(3) 今後について

- 新たな計画相談に対応するため、相談支援体制を整備し、計画相談システムの導入などで効率化を図っていく。
- 計画相談の質的向上を図るため、ケース検討会などを実施して研鑽に努めるとともに、各種研修に参加し支援スキルの向上を図っていく。
- 困難事例に対して適切に対応するため、関係機関との連携を更に深め、課題の解決にあたっていく。

(4) 相談状況（平成28年3月31日現在）

①経路別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
訪問	4 (0)	37 (0)	244 (0)	0 (0)	285 (0)
来所	1 (0)	23 (0)	74 (0)	0 (0)	98 (0)
同行	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (0)
電話	1 (0)	28 (0)	153 (0)	0 (0)	182 (0)
電子メール	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)
個別支援会議	0 (0)	0 (0)	12 (0)	0 (0)	12 (0)
関係機関	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (0)
合計	6 (0)	88 (0)	491 (0)	0 (0)	585 (0)

※括弧内は児童の相談件数

②内容別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
福祉サービスの利用	6 (0)	76 (0)	407 (0)	0 (0)	489 (0)
健康・医療	0 (0)	7 (0)	17 (0)	0 (0)	24 (0)
不安解消・情緒安定	0 (0)	0 (0)	10 (0)	0 (0)	10 (0)
家族関係・人間関係	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)
家計・経済	0 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	4 (0)
生活技術	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (0)
就労	0 (0)	0 (0)	8 (0)	0 (0)	8 (0)
社会参加・余暇活動	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)
権利擁護	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (0)
障害や病状の理解に関する支援	0 (0)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	4 (0)
その他	0 (0)	5 (0)	31 (0)	0 (0)	36 (0)
合計	6 (0)	88 (0)	491 (0)	0 (0)	585 (0)

※括弧内は児童の相談件数

7. 事故・苦情・ヒヤリハット等の状況

(1) 苦情解決システムに基づく対応

平成27年度、苦情解決システムに基づき対応した事案はなかった。

(2) 事故・苦情・ヒヤリハットの取りまとめ状況

①事故

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
誤薬・誤飲	あかつき園・ワークセンター ささゆり	2件	内容 与薬忘れ・誤飲(スプーン破片) 原因 与薬確認の不備 スプーンの劣化	与薬確認の徹底 食器等の点検
	わんすてっぷ	1件	内容 与薬忘れ 原因 与薬管理の不備	与薬確認の徹底
	ささゆり園 (生活介護)	1件	内容 誤飲(絆創膏) 原因 利用者自身の常同行為 (指を口に入れる)	見守りの強化、代替え策 の検討
	地域生活総合 支援センター	0件		
合計件数		4件		

怪我	あかつき園・ワークセンター ささゆり	7件	内容 打撲・擦過傷・出血・チアノーゼ 原因 職員の不注意、てんかん発作 環境不備	安全配慮の徹底 環境整備
	わんすてっぷ	2件	内容 打撲 原因 利用者の状態把握不足	安全配慮の徹底
	ささゆり園 (生活介護)	2件	内容 打撲 原因 職員の不注意	安全配慮の徹底
	地域生活総合 支援センター (ショートステイ)	2件	内容 擦過傷 原因 利用者の状態把握不足	安全配慮の徹底
合計件数		13件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
他傷行為による怪我	あかつき園・ワークセンター ささゆり	35件 (内、職員に対するもの 16件)	内容 噛みつき、殴打、引っ掻き等 原因 安全配慮不足 利用者の状態把握不足 障害特性	安全配慮の徹底 利用者の心的状態を適切に把握 安全環境の整備 行動障害に関する支援スキルの向上
	わんすてっぷ	3件	内容 抓る、打撲 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	安全配慮の徹底 利用者の心的状態を適切に把握
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター	0件		
合計件数		38件		
自傷行為による怪我	あかつき園・ワークセンター ささゆり	0件		
	わんすてっぷ	2件	内容 裂傷 原因 障害特性	安全配慮の徹底 利用者の心的状態を適切に把握
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター	0件		
合計件数		2件		
器物損壊	あかつき園・ワークセンター ささゆり	4件	内容 備品・設備の破損 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	適切な情報提供 環境整備 利用者の心的状態を適切に把握
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター (グループホーム)	2件	内容 備品の破損 原因 利用者の状態把握不足 障害特性	環境整備 利用者の心的状態を適切に把握
合計件数		6件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
無断外出	あかつき園・ワークセンター ささゆり	0件		
	わんすてっぷ	2件	内容 一時的な所外への無断外出 登所後に無断帰宅 原因 本人の精神的不調 利用者の状態把握不足	家庭との連携 利用者の心的状態を適切に把握
	ささゆり園	0件		
	地域生活総合支援センター (ショートステイ、グループホーム)	4件	内容 一時的な所外への無断外出 原因 本人の精神的不調 利用者の状態把握不足	環境整備 利用者の心的状態を適切に把握
合計件数		6件		

車両事故	あかつき園・ワークセンター ささゆり	0件		
	わんすてっぷ	0件		
	ささゆり園	2件	内容 対物接触 原因 確認不足	安全運転の徹底
	地域生活総合支援センター (ショートステイ)	3件	内容 車両接触、対物接触 原因 確認不足 相手車両の不注意	安全運転の徹底
合計件数		5件		

その他	<p>(あかつき園・ワークセンターささゆり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の不注意・連携不足によるトイレでの放置2件 ・外出先店舗商品の無断持ち帰り1件 ・職員の確認不足による送迎遅延1件 ・非常ベルの誤操作1件 <p>(わんすてっぷ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出先店舗での無銭摂食1件 ・送迎車両への乗車拒否1件
-----	--

②苦情

部署	件数	内容	原因	解決状況
あかつき園・ワークセンターささゆり	4件	送迎時の利用者支援に関するもの	誤った支援方法の指示	今後の対応方法の説明
		安全配慮に関するもの	他傷行為に対する安全確保策の説明不足	今後の対応方法の説明
		水分摂取に関するもの	事実誤認	事実の説明
		実習参加に関するもの	職員間の連携不足	実習経過の確実な引き継ぎ
わんすてっぷ	2件	連絡帳の記載に関するもの	家族との情報共有不足	状況の説明
		必要書類の提出期間・方法に関するもの	家族との情報共有不足	代替方法の提案
ささゆり園	2件	公用車の運転に関するもの	左折時のウインター忘れ	当該職員への指導
		行事のあり方に関するもの(箕面市を通じて)	事実誤認	箕面市を通じて説明
地域生活総合支援センター(ショートステイ)	1件	利用者負担金に関するもの(箕面市を通じて)	家族との情報共有不足	箕面市を通じて説明
合計件数	9件			

③ヒヤリハット

部署	件数	内容
あかつき園・ワークセンターささゆり	19件	<ul style="list-style-type: none"> * 職員の不注意・安全配慮不足により怪我に至る恐れがあった事案(3件) * 無断外出・所在不明に至る恐れがあった事案(4件) * 障害特性により他傷行為に至る恐れがあった事案(10件) * 連絡・確認不足により支援に支障を来す恐れがあった事案(2件)
わんすてっぷ	0件	
ささゆり園	1件	* 送迎時の車いす固定方法の不備により転倒を来す恐れがあった事案(1件)
地域生活総合支援センター	0件	
合計件数	20件	

8. 地域参加・交流状況

(1) 納涼祭 (主催：あかつき福祉会)

実施日： 8月28日 (金)
実施場所： 瀬川地区敷地内
参加者数： 約400名
協力団体： 8団体
利用者参加者： 43名
職員従事者： 37名
内容： 盆踊り、ゲームコーナー、模擬店、抽選会など

(2) 西南ジャンボリー (主催：西南ジャンボリー実行委員会、西南小校区青少年を守る会)

実施日： 8月29日 (土)
実施場所： 西南小学校グラウンド
体験者数： 約100名
実行委員会： 4回実施
職員従事者： 4名
内容： 車いす体験コーナー

(3) いきいきふれあい広場 (主催：西南小地区福祉会)

実施日： 11月14日 (土)
実施場所： 西南公民館
職員従事者： 4名
内容： 野菜、さをり製品等の販売

9. 職員研修実施状況

(1) 法人全体研修

実施日	研修内容	参加者数	講師
平成27年11月6日	ハンディスーツから見えたカイジヨの魅力	99名	NPO法人WAO 相談支援専門員 今井 雅子氏
平成27年11月6日～ 平成27年12月15日	虐待防止研修	113名	管理監督職
平成28年2月7日	コミュニケーション研修 ※正規職員対象	16名	けあ人財アカデミー合同会社 垣内 イスズ氏
	合計	228名	

(2) 事業・施設別研修参加状況

	平成26年度	平成27年度
法人本部	3名 (3件)	4名 (4件)
あかつき園・ワークセンター ささゆり	74名 (23件)	76名 (26件)
わんすてっぷ	7名 (7件)	7名 (7件)
ささゆり園	258名 (37件)	293名 (52件)
地域生活総合支援センター	16名 (5件)	23名 (12件)
合計	358名 (75件)	403名 (101件)

	研修内容
法人本部	マイナンバー研修、社会福祉法人の存在意義と使命を考えるなど
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	新入職員のためのサービスマナーセミナー、介護に従事するための新人研修、トータルセミナーin尼崎、池田保健所管内集団給食研究会、喀痰吸引等3号研修ディズニーに学ぶ、感染症・食中毒予防対策講習会、サービスマナーセミナー中級、障害児者施設課程(通所コース、主任クラス)、相談支援従事者研修、利用者支援研修、ファシリテーター養成講座、介護職に求められるコミュニケーション力講座、伝わる文章講座、スーパービジョン実践者養成ゼミナール、リスクマネジメント研修、福祉職員研修(中堅職員)、虐待防止・権利擁護研修、人権セミナー、サービス管理責任者研修、TTAP入門ワークショップなど
わんすてっぷ	サービスマナーセミナー中級、知的障害のある人たちの高齢化の課題と暮らし、箕面市における虐待の状況、虐待防止と合理的配慮、認知症の理解と対応について、苦情解決の現状と課題、高齢期にある知的障害者の生活課題など
ささゆり園	トータルセミナー、サービスマナーセミナー中級、強度行動障害支援について、障がい児者施設課程(通所コース、主任クラス)、てんかん基礎講座、腰痛予防研修、最新介護ロボット体験セミナー、障害者虐待防止・権利擁護研修、相談支援従事者研修、喀痰吸引研修(実地研修)など
地域生活総合 支援センター	サービスマナーセミナー初級、サービスマナー・セミナー中級、理学療法士が考える起居関連動作の理解と姿勢や動作を補助する福祉用具の基本、第12回日本グループホーム学会全国大会in京都、社会福祉法人のための新規事業支援セミナー、障害者虐待研修、第5回ショートステイ連絡協議会、強度行動障がい支援者養成研修【基礎研修】、相談支援従事者現任研修、強度行動障がい支援者養成研修【実践研修】、発達障害の理解とその対応について～成人期を中心に～、医療的ケア実施相談会など

10. 実習生受入状況

(1) 進路支援に係る実習

受入施設	実習元	実人数	延べ人数	延べ日数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	箕面支援学校	5名	10名	10日	支援学校卒業後の進路先を 検討するため
	大阪市立視覚 支援学校	1名	2名	2日	
	合 計	6名	12名	12日	

(2) その他

受入施設	実習元	実人数	延べ人数	延べ日数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	箕面市	11名	25名	25日	福祉体験学習
	箕面学園福祉保育 専門学校	1名	1名	1日	介護等体験実習
	日本メディカル福 祉専門学校	1名	23名	23日	相談援助実習
	佛教大学	3名	15名	15日	介護等体験実習
	大阪府社会福祉協 議会	1名	3名	3日	福祉職業体験
わんすてつぷ	箕面市	10名	14名	14日	福祉体験学習
	箕面学園福祉保育 専門学校	1名	2名	2日	介護等体験実習
ささゆり園	箕面市	5名	12名	12日	福祉体験学習
	合 計	33名	95名	95日	

11. ボランティア受入状況

事業・施設名	参加内容	参加回数	延べ参加者
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	農園作業	122回	380名
	日中活動	12回	12名
	所外活動・イベント	7回	32名
わんすてっぷ	日中活動	39回	39名
	所外活動・イベント	6回	20名
ささゆり園	コンサート・歌体操	8回	107名
	合 計	194回	590名

12. 視察・見学状況

(1) 受入状況

施設・事業	視察・見学元	人数	目的
あかつき園・ ワークセンターささゆり	箕面市議員	6名	施設見学
	ハンドインハンド	7名	施設見学
	やまぶき園	5名	施設見学
	豊中支援学校	2名	施設見学
	箕面支援学校	7名	施設見学
	池田保健所管内集団給食研究会福祉部会	6名	施設見学
	佛教大学	3名	介護等体験オリエンテーション
	箕面市進路保障協議会	9名	施設見学
	箕面市民生委員児童委員協議会	12名	施設見学
	西南小学校	132名	施設見学
	ささゆり園	NHK	7名
障がい者支援施設あすなる		2名	施設見学
北摂親愛園		4名	施設見学
箕面市民		8名	施設見学
箕面支援学校		3名	進路に係る社会資源の視察
箕面保育園他		25名	施設見学
合 計		238名	

(2) 視察・見学実施状況

施設・事業	見学・視察先	人数	目的
あかつき園・ ワークセンターささゆり	オレンジ池田	2名	施設見学
	ふれいすBe	4名	施設見学
ささゆり園	オレンジ池田	1名	施設見学
	デイセンター茨木	2名	施設見学
	ふれいすBe	2名	施設見学
地域生活総合支援 センター	寝屋川市立短期入所施設大谷の里	3名	施設見学
合 計		14名	

13. 講師派遣状況

派遣先	件名	派遣講師
箕面市肢体不自由児者父母の会	夏期レクリエーションボランティア講習会	鈴木裕美子

14. 役員名簿

(1) 理事

平成28年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
理事長	永田 吉治	箕面ライオンズクラブ	会員	地域の福祉関係者
副理事長	西尾 英子	箕面手をつなぐ親の会	会長	地域の福祉関係者
理事	千馬 外代美	箕面市肢体不自由児者父母の会	副会長	地域の福祉関係者
理事	石田 良美	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会	会長	地域の福祉関係者
理事	井上 義人	箕面市民生委員児童委員協議会	会長	地域の福祉関係者
理事	小山 隆	同志社大学社会学部	教授	学識経験者
理事	吉田 功	元 箕面市職員		学識経験者
理事	林 たかみ	箕面ロータリークラブ	理事	地域の福祉関係者
理事	森 輝和	箕面市身体障害者福祉会	理事	地域の福祉関係者
理事	村田 尚記	箕面市健康福祉部	副部長	行政関係者
理事	亀谷 雅彦	社会福祉法人あかつき福祉会 地域生活総合支援センター	所長	施設長

(2) 監事

平成28年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
監事	寺内 勇	社会福祉法人翠明社 特別養護老人ホーム 照葉の里	監事	地域の福祉関係者
監事	南 悦司	箕面市会計室	会計管理者	行政関係者

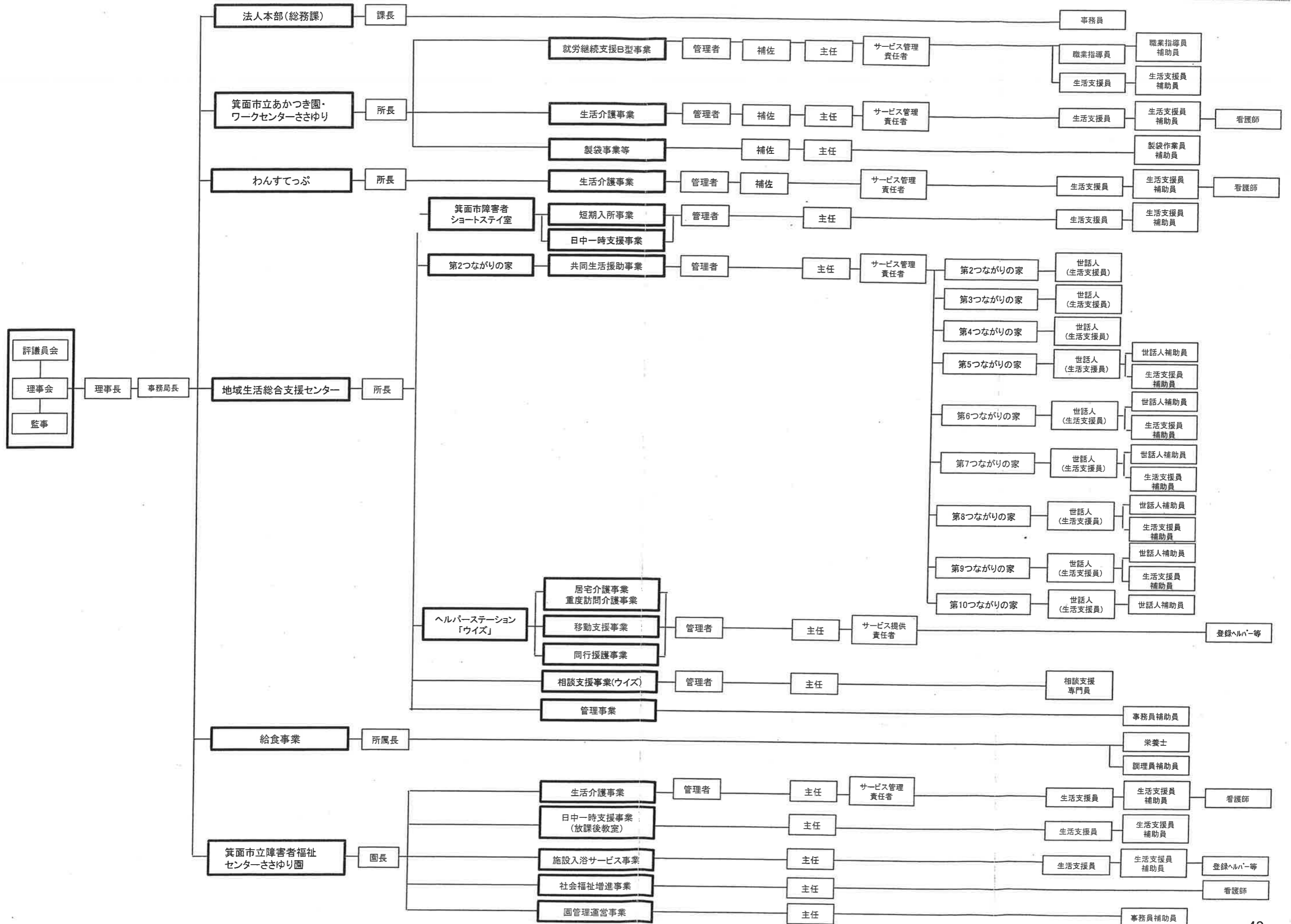
(3) 評議員

平成28年3月31日現在

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
評議員	牧野 史	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会 箕面市立介護老人保健施設	事務長	地域の福祉関係者
評議員	甲斐 節男	西南小地区福祉会	会長	地域の福祉関係者
評議員	石田 宇佐美	箕面市民生委員児童委員協議会	元地区委員長	地域の福祉関係者
評議員	下司 良一	一般財団法人箕面市障害者事業団 就労支援課	課長	地域の福祉関係者
評議員	久代 美津恵	箕面市身体障害者福祉会	副会長	地域の福祉関係者
評議員	名淵 須和子	箕面手をつなぐ親の会	副会長	地域の福祉関係者
評議員	高橋 栄子	箕面市肢体不自由児者父母の会	幹事	地域の福祉関係者
評議員	羽田 浩朗	社会福祉法人大阪府社会福祉事業団 特別養護老人ホーム白鳥荘	副施設長	地域の福祉関係者
評議員	満石 和彦	社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団 明光ワークス	所長	地域の福祉関係者
評議員	植田 恵美子	社会福祉法人 息吹	理事長	地域の福祉関係者
評議員	前田 建司	箕面ロータリークラブ	幹事	地域の福祉関係者
評議員	爲永 順子	箕面商工会議所	副会頭	地域の福祉関係者
評議員	日根 真理	箕面市西南小校区青少年を守る会	会長	地域の福祉関係者
評議員	多田 育雄	NPO法人箕面ラポール	監事	地域の福祉関係者
評議員	後藤 統雄	箕面市赤十字奉仕団	常任理事	地域の福祉関係者
評議員	笥 加代	社会福祉法人あおば福祉会 瀬川保育園	園長	地域の福祉関係者
評議員	村西 啓二	大阪府立箕面支援学校 進路指導部	副部長	学識経験者
評議員	浅岡 建三	浅岡・瀧法律会計事務所	弁護士	学識経験者
評議員	長谷川 千波	箕面市健康福祉部障害福祉課	課長	行政関係
評議員	柴田 大	箕面市人権文化部人権施策課	課長	行政関係
評議員	東方 操	箕面市教育委員会事務局子ども未来 創造局早期療育室	担当室長	行政関係
評議員	加藤 隆之	社会福祉法人あかつき福祉会 箕面市立障害者福祉センターささゆり園	園長	地域の福祉関係者
評議員	古川 伸吾	社会福祉法人あかつき福祉会 箕面市立障害者自立支援センター (箕面市立あかつき園・ワークセンターさ さゆり)	所長	地域の福祉関係者

15. 平成27(2015)年度組織図

平成28年3月31日現在



16. 平成27(2015)年度職員内訳

平成28年3月31日現在

部局名	正規職員	支援職員	臨時職員	合計
法人本部	3名	4名	0名	7名
あかつき園・ワークセンターささゆり	9名	13名	40名	62名
わんすてっぷ	1名	1名	4名	6名
障害者福祉センターささゆり園	3名	6名	19名	28名
地域生活総合支援センター	3名	20名	14名	37名
厨房	0名	1名	6名	7名
合計	19名	45名	83名	147名

注1) 法人本部の支援職員には、障害者職員を含む

注2) あかつき園・ワークセンターささゆりには、製袋担当職員を含む

注3) 厨房の支援職員は、障害者職員を含む

注4) 臨時職員数には、バス添乗等の短時間勤務職員を含む

注5) その他、登録ヘルパー約30名(実質稼働者数)